

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

49号
2021
4.16

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



春の開園時間延長中！ 5月16日(日)まで
開園時間を18:30まで延長します！（入園は18:00まで）

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！ 見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第16回 桜散歩

- 日時：4月16日(金)、17日(土) 13:00～
4月18日(日) 15:30～
- 場所：植物園会館前集合 ※定員：先着30名
- 内容：園内の桜を職員が案内 *1時間程度

第9回 サトザクラ展

- 期間：4月16日(金)～4月18日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：園内にあるサトザクラを中心とした切り枝を展示

◆4/18(日)サトザクラ展関連 講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00 (受付13:00～)
「浮世絵に見る江戸の花見(仮)」※定員：先着60名
講師：佐藤知乃博士 亜細亜大学准教授

バラ栽培講習会

- 4月17日(土) 13:00～15:00 (受付12:30～)
- 「春バラの手入れ」植物園会館2階研修室
- ※講師：日本ばら会京都部会会員
- ※参加費：200円(別途入園料が必要)
- ※定員：先着60名

私の好きな木20周年記念展

- 期間：4月23日(金)～4月25日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：私の好きな木20周年を記念してこれまでの取り組みなどを総括した展示

◆4/25(日)私の好きな木20周年記念展 関連講演会

植物園会館2階多目的室 13:30～15:00 (受付13:00～)
「教育実践の場～「♪一本の樹」からはじまった～」
講師：松谷名誉園長 ※定員：先着60名

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内！

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」

4月18日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！ ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察！

第29回 フクシア展

- 期間：4月23日(金)～5月9日(日)
- 場所：観覧温室(ジャングル室)
- 内容：フクシア約150品種200鉢を展示

◆4/25(日)フクシア展 関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00 (受付13:00～)
「フクシアってどんな植物？」 ※定員：先着60名
講師：戸部博氏(府立植物園園長)

第41回 エビネ展

- 期間：4月29日(木祝)～5月3日(月祝)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：エビネ類約200点を展示(販売あり)

第59回 山草野草展

- 期間：4月29日(木祝)～5月5日(水祝)
- 場所：植物展示場
- 内容：山草、野草類約500点を展示(販売あり)

花苗園芸市 & 野菜地域産品市(植物園マルシェ)

- 期間：5月1日(土)～5月2日(日)
- 場所：大芝生地 & くすのき並木
- 内容：*花苗や園芸関係グッズの販売、園芸愛好家による展示・PR
*野菜や地域産品の販売、展示

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」

2021. 4. 16

49号

⑫ ジャボチカバ

フトモモ科。ブラジルやアルゼンチンなどに分布。白い花やその後に来る濃い紫色の果実が直接幹に付くことが大きな特徴。果実は直径2~3cmほどの大きさをブドウの巨峰にそっくり。味もブドウに似ていて果肉は甘酸っぱく軟らかい。

⑪ フタバアオイ

ウマノズグサ科。本州の福島県以南から四国、九州まで分布。名のとおりハート形の葉を普通は2つつける特徴がある。花は小さく、地際にうつむいて咲く。上賀茂神社や下鴨神社の神紋、徳川家の家紋は本種がモチーフとなっている。

⑩ メディニラ・マグニフィカ

ノボタン科。フィリピン原産。茎の先端やその付近の葉腋から長い花茎を下げ、長さ10cmほどの淡紅色の美しい苞をつける。その先にコーラルピンクの小花を多数つけ、長期間咲き続ける。別名はオオバヤドリノボタン(大葉宿野牡丹)。

⑨ ルリカラクサ(ネモフィラ)

ムラサキ科。北アメリカ原産。属名のネモフィラと呼ばれることも多い。ネモフィラはギリシャ語で「森を愛する」の意味で森の茂みの中の明るい日だまりに自生していることに由来する。英名では「ベイビー・ブルー・アイズ」と呼ばれている。

① ベニバナトキワマンサク

マンサク科。中国原産。日本では限られた地域で自生が確認されているトキワマンサクの変種。花は枝先に4~8個集まって咲き、満開になると株全体が紅色で覆われ、白花のトキワマンサクに比べると華やかで非常に目立っている。

② ボタン(牡丹)

ボタン科。中国原産。日本には薬用植物として渡来。その後、観賞用にも栽培されるようになった。ボタンは木本で冬も枝が残るのに対し、シャクヤクは草本で冬は地上部が枯れ、地中の根や芽で冬越しする点で区別できる。

③ タンチョウソウ

ユキノシタ科。中国や朝鮮半島に分布。葉に切れ込みがあるため「イワヤツデ」とも呼ばれる。花は直径1cm前後と小さい。一見花卉に見えるのはガクで、その内側に5~6枚の目立たない花卉がある。性質は強健で栽培は容易。

④ アケビ(花)

アケビ科。本州から九州などに分布。秋に楕円形の果実がつき、熟すと縦に割れて白くて甘い果肉と黒い種子をのぞかせる様子から、「開け実」の意味で名付けられた。雌雄同株であるが雌雄異花で花色は淡紫色。

⑤ シバザクラ

ハナシノブ科。北アメリカ東部原産。和名は花の形や色がサクラに、草姿、葉形がシバに似ることから付けられた。属名のフロックスはギリシャ語で「炎」を意味し、赤色の花に由来する。性質は強健で乾燥、寒さにも強い。

⑥ ハナズオウ

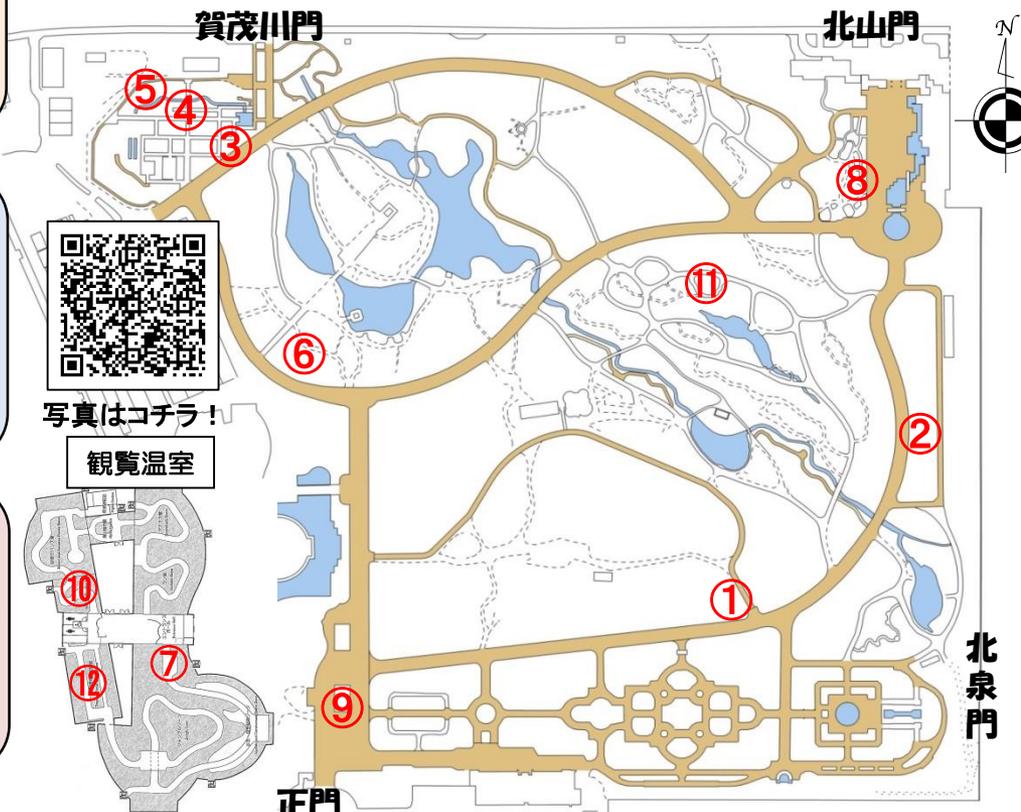
マメ科。中国、朝鮮に分布。花の色が、スオウの木から採った染料に似ていることからその名が付いた。葉より先に小さな花を枝一面に密集して咲かせ、花が終わったあとにハート型のかわいらしい葉が芽吹く。

⑧ ルピナス

マメ科。北アメリカ原産。ルピナスの名はオオカミに由来し、吸肥力が非常に強い特徴を貪欲な狼にたとえたものである。また、チョウに似た小花が咲き上がる様子がフジを逆さまにしたようで、和名で「ノボリフジ(昇り藤)」とも呼ばれる。

⑦ ツンベルギア・マイソレンシス

キツネノマゴ科。インド南部原産。大型つる性植物で原産地では10m以上伸びる。属名のツンベルギアは「日本植物誌」で知られるスウェーデンの植物学者の名に、種小名のマイソレンシスは、原産地であるインド南部の都市名に因む。



写真はコチラ!

観覧温室